

「球界を代表する選手になりたい！」

■インタビュー

夏の県大会で通算打率7割5分の
驚異的な数字を引っさげて
プロに挑む宇部銀次君



甲子園出場の夢は果たせなかったが、野球を始めたスポーツ少年団時代からプロを目指し、誰よりも厳しい練習を続けてきた。夏の大会では、左右に打ち分ける広角打法で安打を量産。7試合で24打数18安打と打ちまくった。負けず嫌いな性格と誰よりも野球が好きでたまらない銀次君。夢の扉を開いた彼の胸の内に迫る――。

キャンプについていく 体力をつけること

――楽天に指名されたときの心境は。

銀次 「寝むれなかった」ってことはなかったですが、とにかく指名されて良かったです。うれしいです。プロへ行くという実感は

沸いてきましたか。
銀次 新聞とかに自分が載っていたりすると、プロになるんだなーと感じますね。

――小さいときのプロへのあこがれが、自分もプロになるんだという強い気持ちに変わったのはいつごろですか。

銀次 高校2年生の秋の東北大会ぐらいからです。

――楽天というチームにはどのようなイメージを持っていますか。

銀次 監督が野村監督に代わったので、頭を使った野球をするんじゃないかと思えます。これからどんどん強くなるっていうイメージがありますね。

――プロに行くに当たって自分に足りないと思う点はどういうところですか。

銀次 全部足りないです。パワーも、肩も、頭も足りないと思っています。

――来年1月からの合同自主トレに向け、どんなテーマを持って練習していますか。

銀次 とりあえず、体をもっと大きくしたいです。ウエイトトレーニングをしたり、スイングをしたり、とにかく今はキャンプについていけるような体力をつけることを目標に考えてます。

PLAYER'S DATA うべ・ぎんじ

【遠投】
計ったことはないですが、100mぐらいです。

【視力】
左右1.5

【握力】
右65kg
左58kg

【身長、体重】
175cm
80kg

【血液型】
A型

【経歴】
宇部小学校－普代小学校－普代中学校－盛岡中央高校

【生年月日】
1988年2月24日

【出身地】
岩手県久慈市